

	項目	機能要件	質問	回答
1	歳出管理機能	概算払、資金前渡、前金払及び工事前払金による支出が可能であること。【項番95】	「概算払、資金前渡、前金払及び工事前払金による支出が可能であること。」 →工事前払金と前金払を区別する理由は何かございますでしょうか。	現システムにおいては、債権者の口座情報を登録する際に工事前払金専用の口座を登録する機能があります。振込先誤りを防ぐため、工事前払金の伝票を作成する際、専用口座を指定するには、支出区分を「工事前払金」にする必要があることから、「工事前払金」と「前金払」の項目を使い分けており、本機能要件としています。
2	執行共通管理機能	伝票の決裁を了した日が自動で起票日と同日になるよう設定が可能であること。【項番166】	「伝票の決裁を了した日が自動で起票日と同日になるよう設定が可能であること。」 →こちらはどのような利用シーンを想定しての要件でしょうか。	現システムにある機能で、後々に日付の矛盾が生じるのを防いでいます。 例1) 支出負担行為書(①)作成後に支出命令書(②)を作成した場合、②の起票日を①の起票日よりも前の日付を入力した場合は、自動で①②の起票日を同日設定することで、日付の矛盾を防ぐことができます。 また、元となる支出負担行為の決裁日と支出命令の起票日の整合性を確認できる仕組みがあれば代替策として評価できます。 例2) 収入日当日に調定伝票を起票した場合、決裁を了した日が自動で起票日と同日になることで、収入日と矛盾することがなくなります(収入日に合わせて収入事務をするため、日付の整合性がとれます)。
3	UI・管理者機能	表示は決裁日時のみで更新日時については管理者以外はマスクすることが可能なこと。【項番230】	「表示は決裁日時のみで更新日時については管理者以外はマスクすることが可能なこと。」 →こちらはどのような利用シーンを想定しての要件でしょうか。	伝票の時系列を整合させるために設定した日付と実際に決裁として更新した日に乖離がある場合、整合性を確認する際に設定日付に疑義が生じるケースがあります。伝票上の決裁日が正であるため、更新日は通常時マスクする設定が好ましいです。
4	その他機能	①審査画面→②起票画面→③審査画面というように操作画面を切り替えた場合、③の審査画面を開いたときに①の画面の最後の状態を保持していること。【項番240】	「①審査画面→②起票画面→③審査画面というように操作画面を切り替えた場合、③の審査画面を開いたときに①の画面の最後の状態を保持していること。」 →こちらはどのような利用シーンを想定しての要件でしょうか。	審査の際、画面の開閉が手間であり、一度開いた画面を保持できると審査がスムーズに行えます。また、タブの切り替えなど、画面遷移のレスポンスが高い場合は代替策として評価できます。
5	その他機能	審査伝票の検索画面で、現システムの「電子審査用命令一覧」の抽出キーに加えて「債権者名称」「債権者番号」での伝票検索・抽出ができること。【項番243】	「審査伝票の検索画面で、現システムの「電子審査用命令一覧」の抽出キーに加えて「債権者名称」「債権者番号」での伝票検索・抽出ができること。」 →現システムの「電子審査用命令一覧」の抽出キーとはどのようなものでしょうか。	現システムでは、「命令種別(伝票の種類)」「支払方法」「受付区分」「審査区分」「支払区分」「命令日」「審査日」「支払予定日」「請求日」「科目」「所属」「命令額」「添付文書区分」で抽出可能となっています。
6	-	-	機能要件等一覧表の対応欄の回答につきまして 実施要領p.4 8(3)は「○:標準機能で対応可能」、機能要件等一覧表は「○:対応可(標準対応、無償カスタマイズ)」と記載がありますが、機能要件等一覧表に記載のとおり、無償カスタマイズの場合は「○」としてよろしいでしょうか。	無償カスタマイズで対応が可能な場合は、機能要件等一覧表の対応可否については「○」を選択し、備考に「無償カスタマイズ」と記載してください。